

自治医科大学さいたま医療センター専門研修連携施設 群

各研修病院における手術件数と分娩数(平成 28 年 1 月～12 月)

病院		総手術件数	婦人科手術	子宮内容除去術	腹腔鏡下手術	分娩数	帝切術
基幹施設	自治医大さいたま医療センター	712	516	33	287	409	196
	—						
連携施設	自治医科大学附属病院	1080	559	63	44	962	492
	かしわざき産婦人科	180	72	144	70	444	108
	医療生協 埼玉協同病院	275	178	114	3	452	94
	合計	2247	1325	354	404	2267	890

各教育研修病院における研修体制

病院	生殖内分泌	婦人科腫瘍	周産期	女性のヘルスケア
自治医大さいたま医療センター	○	◎	◎	○
自治医科大学附属病院	◎	◎	◎	◎
かしわざき産婦人科	◎	△	○	○
医療生協 埼玉協同病院	△	○	◎	◎

各研修病院での専攻医指導に関する研修可能性を 4 段階(◎、○、△、×)に評価した。

1) 基幹施設

自治医科大学附属さいたま医療センター

指導責任者	<p>桑田知之 【メッセージ】</p> <p>自治医科大学附属さいたま医療センターのセールスポイントは、1) 周産期医療と婦人科がん診療(浸潤がん手術症例数は約 120 例)においては症例の豊富さ、2) 手術など技術の指導に熱心な指導体制、3) エビデンスを作るための臨床試験や治験への参加が多く、自然にEBMを身につけられる環境、である。後期研修4年目の秋に産婦人科専門医を取得することができ、さらに希望があればサブスペシャリティの周産期(母体・胎児)専門医、婦人科腫瘍専門医取得のための研修に移行できる。また、大学院進学も積極的に支援している。</p>
指導医数	<p>専門研修指導医 4 名、日本産科婦人科学会専門医 6 名、日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 1 名、日本臨床細胞学会細胞診専門医 1 名、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 2 名、日本がん治療認定医機構認定医 1 名、日本生殖医学会生殖医療専門医 1 名、日本周産期・新生児医学会 周産期(母体・胎児)指導医 2 名、NCPR インストラクター2 名</p>
外来患者数	<p>外来患者 1100 名(1ヶ月平均) 婦人科:500 名、産科:600 名</p>
入院患者数	<p>1090 名(1ヶ月平均) 婦人科:410 名、産科:680 名</p>
手術件数	<p>約 40 件/月(婦人科 20 件 産科 20 件) 約 700 件/年(婦人科 500 件 産科 200 件)</p>
分娩件数	<p>約 33 件/月 約 400 件/年</p>
経験できる疾患	<p>ほとんどすべての産婦人科疾患を経験することができます。</p>
経験できる手技	<p>1) 婦人科内分泌検査・・・基礎体温測定、腔細胞診、頸管粘液検査、ホルモン負荷テスト、各種ホルモン測定、子宮内膜検査 2) 不妊(症)検査・・・基礎体温測定、卵管疎通性検査(通気、通水、通色素、子宮卵管造影)、精液検査、子宮鏡、腹腔鏡、子宮内膜検査、月経血培養 3) 癌の検査・・・子宮腔部・頸部・内膜をはじめとする細胞診、コルポスコピー、組織診、子宮鏡、RI 検査、CT、MRI、腫瘍マーカー測定 4) 絨毛性疾患検査・・・基礎体温測定、ホルモン測定(絨毛性ゴナドトロピンその他)、胸部 X 線検査、超音波診断、骨盤動脈造影 5) 感染症の検査・・・一般細菌、原虫、真菌検査、免疫学的検査(梅毒血清学的検査、HBs 抗原検査、HCV 抗体検査、HTLV-I 検査、HIV 検査、風疹抗体、トキソプラズマ抗体、淋菌 DNA、クラミジア DNA・抗体検査など)、血液像、生化学的検査 6) 放射線学的検査・・・骨盤計測(入口面撮影、側面撮影)、子宮卵管造影、腎盂膀胱造影、リンパ管造影、シンチグラフィ、骨・トルコ鞍・胸部・腹部単純撮影法、CT、MRI、RI 検査 7) 内視鏡検査・・・コルポスコピー、子宮鏡、腹腔鏡、直腸鏡 8) 妊娠の診断・・・免疫学的妊娠反応、超音波検査(ドップラー法、断層法) 9) 生化学的・免疫学的検査 10) 超音波検査・・・ドップラー法: 胎児心拍聴取、断層法: 骨盤腔内腫瘤(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍その他)、胎嚢、胎児頭殿長、児頭大横径、胎状奇胎、胎盤付着部位、多胎妊娠、胎児発育、胎児形態異常の診断、子宮頸管長、Biophysical Profile Score (BPS)、Amniotic Fluid Index (AFI)、血流ドップラー法 11) 出生前診断・・・羊水検査、胎児 well-being 診断、胎児形態異常診断 12) 分娩監視法・・・陣痛計測、胎児心拍数計測、血液ガス分析</p>

経験できる手術(術者)	婦人科:腹式単純子宮全摘出術、腔式単純子宮全摘出術、開腹・腹腔鏡下子宮筋腫核出術、子宮腔部円錐切除術、子宮頸管形成術、頸管ポリープ切除術、子宮脱手術、開腹・腹腔鏡下付属器摘出術、開腹・腹腔鏡下卵巣腫瘍核出術(切除術)、開腹・腹腔鏡下卵管避妊手術、Bartholin 腺手術、陈旧性会陰裂傷形成術、腹腔鏡下腹腔内観察、胸水穿刺術、腹水穿刺術、皮膚腫瘍生検術、開腹・腹腔鏡下異所性妊娠手術、子宮卵巣悪性腫瘍手術 産科:会陰切開・縫合術、吸引遂娩術、鉗子遂娩術、骨盤位牽出術、腹式帝王切開術、子宮内容除去術、子宮頸管縫縮術・抜環術、妊娠合併卵巣腫瘍核出術(切除術)、産褥会陰血腫除去術、羊水穿刺術
経験できる手術(助手)	婦人科:広汎子宮全摘出術、準広汎(拡大単純)子宮全摘出術、後腹膜リンパ節郭清、卵巣癌根治手術、子宮鏡下手術、腹腔鏡下悪性腫瘍手術、外陰切除術 産科:子宮動脈塞栓術
学会認定施設	日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修認定施設 日本臨床腫瘍学会専門医制度研修認定施設 日本臨床細胞学会研修認定施設 NPO 婦人科悪性腫瘍化学療法共同研究機構認定施設 日本がん治療認定医機構認定研修施設 日本婦人科腫瘍学会研修認定施設 日本産科婦人科内視鏡学会研修認定施設

2) 連携施設

1 自治医科大学附属病院

指導責任者	松原茂樹 【メッセージ】 自治医科大学附属病院は、1) 周産期医療と婦人科がん診療においては症例の豊富さ、2) 手術など技術の指導に熱心な指導体制、3) エビデンスを作るための臨床試験や治験への参加が多く、自然に EBM を身につけられる環境にある。後期研修 4 年目の秋に産婦人科専門医を取得することができ、さらに希望があればサブスペシャリティの周産期(母体・胎児)専門医、婦人科腫瘍専門医取得のための研修に移行できる。また、大学院進学も積極的に支援している。
指導医数	専門研修指導医 9 名(講師以上)、日本産科婦人科学会専門医 36 名、日本周産期・新生児医学会周産期(母体・胎児)指導医 3 名、日本周産期新生児医学(母体・胎児)専門医 8 名、日本超音波医学会専門医・指導医 4 名、細胞診専門医 3 名、日本婦人科腫瘍学会専門医 4 名、日本がん治療認定医 4 名、日本生殖医学会認定生殖医療専門医 2 名
外来患者数	外来患者 1100 名(1ヶ月平均) 婦人科:500 名、産科:600 名
入院患者数	4690 名(1ヶ月平均) 婦人科:3320 名、産科:1370 名
手術件数	約 90 件/月(婦人科 46 件 産科 43 件) 約 1080 件/年(婦人科 560 件 産科 520 件)
分娩件数	約 80 件/月 962 件/年
経験できる疾患	ほとんどすべての産婦人科疾患を経験することができます。
経験できる手技	1) 婦人科内分泌検査・・・基礎体温測定、腔細胞診、頸管粘液検査、ホルモン負荷テスト、各種ホルモン測定、子宮内膜検査

	<p>2) 不妊(症)検査・・・基礎体温測定、卵管疎通性検査(通気、通水、通色素、子宮卵管造影)、精液検査、子宮鏡、腹腔鏡、子宮内膜検査、月経血培養</p> <p>3) 癌の検査・・・子宮腔部・頸部・内膜をはじめとする細胞診、コルポスコピー、組織診、子宮鏡、RI 検査、CT、MRI、腫瘍マーカー測定</p> <p>4) 絨毛性疾患検査・・・基礎体温測定、ホルモン測定(絨毛性ゴナドトロピンその他)、胸部 X 線検査、超音波診断、骨盤動脈造影</p> <p>5) 感染症の検査・・・一般細菌、原虫、真菌検査、免疫学的検査(梅毒血清学的検査、HBs 抗原検査、HCV 抗体検査、HTLV-I 検査、HIV 検査、風疹抗体、トキソプラズマ抗体、淋菌 DNA、クラミジア DNA・抗体検査など)、血液像、生化学的検査</p> <p>6) 放射線学的検査・・・骨盤計測(入口面撮影、側面撮影)、子宮卵管造影、腎盂膀胱造影、リンパ管造影、シンチグラフィ、骨・トルコ鞍・胸部・腹部単純撮影法、CT、MRI、RI 検査</p> <p>7) 内視鏡検査・・・コルポスコピー、子宮鏡、腹腔鏡、直腸鏡</p> <p>8) 妊娠の診断・・・免疫学的妊娠反応、超音波検査(ドップラー法、断層法)</p> <p>9) 生化学的・免疫学的検査</p> <p>10) 超音波検査・・・ドップラー法: 胎児心拍聴取、断層法: 骨盤腔内腫瘍(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍その他)、胎嚢、胎児頭殿長、児頭大横径、胎状奇胎、胎盤付着部位、多胎妊娠、胎児発育、胎児形態異常の診断、子宮頸管長、Biophysical Profile Score (BPS)、Amniotic Fluid Index (AFI)、血流ドップラー法</p> <p>11) 出生前診断・・・羊水検査、胎児 well-being 診断、胎児形態異常診断</p> <p>12) 分娩監視法・・・陣痛計測、胎児心拍数計測、血液ガス分析</p>
--	---

経験できる手術(術者)	<p>婦人科: 腹式単純子宮全摘出術、腔式単純子宮全摘出術、開腹・腹腔鏡下子宮筋腫核出術、子宮腔部円錐切除術、子宮頸管形成術、頸管ポリープ切除術、子宮脱手術、開腹・腹腔鏡下付属器摘出術、開腹・腹腔鏡下卵巣腫瘍核出術(切除術)、開腹・腹腔鏡下卵管避妊手術、Bartholin 腺手術、陈旧性会陰裂傷形成術、腹腔鏡下腹腔内観察、胸水穿刺術、腹水穿刺術、皮膚腫瘍生検術、開腹・腹腔鏡下異所性妊娠手術、子宮卵巣悪性腫瘍手術</p> <p>産科: 会陰切開・縫合術、吸引遂娩術、鉗子遂娩術、骨盤位牽出術、腹式帝王切開術、子宮内容除去術、子宮頸管縫縮術・抜環術、妊娠合併卵巣腫瘍核出術(切除術)、産褥会陰血腫除去術、羊水穿刺術</p>
経験できる手術(助手)	<p>婦人科: 広汎子宮全摘出術、準広汎(拡大単純)子宮全摘出術、後腹膜リンパ節郭清、卵巣癌根治手術、子宮鏡下手術、腹腔鏡下悪性腫瘍手術、外陰切除術</p> <p>産科: 子宮動脈塞栓術</p>
学会認定施設	<p>日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修認定施設</p> <p>日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児専門医)認定研修施設</p> <p>日本周産期・新生児医学会新生児専門医研修施設</p> <p>日本婦人科腫瘍学会研修認定施設</p> <p>臨床遺伝専門医制度研修施設</p> <p>日本臨床腫瘍学会専門医制度研修認定施設</p> <p>日本臨床細胞学会研修認定施設</p> <p>NPO 婦人科悪性腫瘍化学療法共同研究機構認定施設</p> <p>日本がん治療認定医機構認定研修施設</p>

2 かしわざき産婦人科

指導責任者	<p>柏崎祐士</p> <p>【メッセージ】最先端レベルの不妊治療を誇っており、腹腔鏡下手術も行っています。生</p>
-------	---

	殖内分秘領域の診療以外に、一般市中産婦人科医院として産科、婦人科の豊富な症例を経験できます。常勤医とともに積極的にそれらの診療に参加できます。
指導医数	専門研修指導医 1 名、日本産科婦人科学会専門医 4 名、日本生殖医学会生殖医療専門医 1 名
外来・入院患者数	外来患者（産科 1660、婦人科 840）名（1ヶ月平均） 入院患者（産科 300、婦人科 60）名（1ヶ月平均）
手術件数	約 15 件/月（産科 9 件、婦人科 6 件）
ART 件数	約 320 件/年（体外受精 顕微授精 胚移植を含む）
分娩件数	約 37 件/月
経験できる疾患	産科、婦人科、生殖医療の各部門における疾患
経験できる手技	産科：妊娠診断、妊婦健診、切迫早産等妊娠経過異常に対する管理、分娩管理、分娩処置（正常・吸引・鉗子・骨盤位・帝王切開分娩、会陰切開縫合等）、新生児の診察、産褥管理 婦人科：一般外来診療・・・内診・直腸診・穿刺診・検体検査・内視鏡検査・画像診断等による各種疾患の診断、投薬・小手術等による治療／入院治療・・・手術患者の手術及び周術期管理、感染性疾患や悪性腫瘍患者の全身管理 生殖医療：不妊外来・・・基礎体温表の診断・各種ホルモン検査・精液検査・卵管検査等による診断、治療方針の立案と排卵誘発や人工授精・体外受精・顕微授精等実際の治療／入院治療・・・体外受精・顕微授精における採卵、精液処理、胚培養、胚移植、胚凍結保存・融解等
経験できる手術	産科：帝王切開術、人工妊娠中絶術、卵管避妊手術 婦人科：腹式単純子宮全摘出術、腔式単純子宮全摘出術、子宮筋腫核出術、付属器摘出術、卵巣腫瘍核出術（切除術）、腹腔鏡下手術（子宮摘出術、子宮筋腫核出術、付属器摘出術、卵巣腫瘍核出術・切除術 生殖医療：腹腔鏡検査、腹腔鏡下癒着剥離術、腔式卵巣嚢胞内容液吸引除去術
学会認定施設	日本生殖医学会生殖医療専門医制度認定研修施設

3 医療生協さいたま生活協同組合 埼玉協同病院

指導責任者	芳賀 厚子 【メッセージ】 当院は埼玉県南部に位置し、一般市中産婦人科医院として産科、婦人科の豊富な症例を経験できます。地域医療を実践しており、地域住民の健康福祉に根差した診療を行っています。 <周産期> 当院は特に周産期医療に力を注いでおり、多数の周産期管理、分娩を経験出来ます。総合病院であるため、内科や精神疾患を合併した妊娠管理も多く、産科管理の力量向上が可能です。妊娠管理の中で妊娠糖尿病などの合併症が診断されることもあり、妊娠期間だけでなく分娩後の健康管理まで見通した医療を身につけることができます。 また社会的、経済的に困難を抱えた妊婦の診療も多く、保健センターなど地域の機関と連携し、育児のフォローアップまで責任を持った管理を心がけています。 <婦人科腫瘍> 婦人科領域では良性疾患を中心に診療を行っています。腹腔鏡手術も手掛けており卵巣や子宮の良性疾患に対する幅広い手術を行なっております。また悪性腫瘍についても、癌検診や出血・腹痛などの症状から疾患の診断を行い、高次医療機関への紹介の必要性などを判断する力がつきます。緩和ケア病棟も有り、病院として在宅医療にも取り組んでいるため、終末期の患者を緩和ケアや在宅につなぐことができます。 <生殖およびヘルスケア、地域医療>
-------	---

	<p>婦人科一般外来も行なっており、思春期、更年期、一般不妊治療・生殖などの産婦人科プライマリ・ケア診療も研修可能です。ライフステージに合わせた治療の選択をアドバイスするなど、地域の中で女性の人生に寄り添った産婦人科医療を経験できます。</p> <p>また、地域医療病院として年間 3000 件を超える救急患者の搬入があり、その中には婦人科の緊急入院や手術を要する患者も含まれています。腹痛などの患者を他科と連携しながら診断、治療につなげる力をつけることができます。</p> <p>産婦人科医全てが一生高次医療機関で診療を続ける訳ではありません。地域の医療も経験することで一次～三次医療の連携とそれぞれの果たすべき役割が見えてくるはずです。その中で産婦人科医療に求められているものと考え、ご自分が将来どのような産婦人科医師になりたいのかを探っていく上で役立つ研修を提供したいと思います。</p>
指導医数	専門研修指導医 1 名、日本産科婦人科学会専門医 5 名
外来・入院患者数	外来患者 のべ約 2000 名(うち妊婦健診約 350 名)/月 入院患者 実数約 80 名/月
手術件数	約 25 件/月(婦人科 15~20 件、産科 5~10 件) 年間合計約 300 件
分娩件数	約 40~50 件/月 年間約 500 件
経験できる疾患	進行癌などの悪性腫瘍症例や高度生殖医療を必要とする不妊症例を除いて、通常日常診療で遭遇するほとんど全ての産婦人科疾患に対する診療を経験することができます。
経験できる手技	<ol style="list-style-type: none"> 1)婦人科内分泌検査・・・基礎体温測定、腔細胞診、頸管粘液検査、ホルモン負荷テスト、各種ホルモン測定、子宮内膜検査 2)不妊(症)検査・・・基礎体温測定、卵管疎通性検査(通水、通色素、子宮卵管造影) 3)癌の検査・・・子宮腔部・頸部・内膜をはじめとする細胞診、コルポスコピー、組織診、CT、MRI、腫瘍マーカー測定 4)絨毛性疾患検査・・・基礎体温測定、ホルモン測定(絨毛性ゴナドトロピンその他)、胸部 X 線検査、超音波診断 5)感染症の検査・・・一般細菌、原虫、真菌検査、免疫学的検査(梅毒血清学的検査、HBs 抗原検査、HCV 抗体検査、HTLV-I 検査、HIV 検査、風疹抗体、トキソプラズマ抗体、淋菌 DNA、クラミジア DNA・抗体検査など)、血液像、生化学的検査 6)放射線学的検査・・・骨盤計測(入口面撮影、側面撮影)、子宮卵管造影、腎盂膀胱造影、骨・トルコ鞍・胸部・腹部単純撮影法、CT、MRI、RI 検査 7)内視鏡検査・・・コルポスコピー、腹腔鏡下観察 8)妊娠の診断・・・免疫学的妊娠反応、超音波検査(ドップラー法、断層法) 9)生化学的・免疫学的検査 10)超音波検査・・・ドップラー法:胎児心拍聴取、断層法:骨盤腔内腫瘍(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍その他)、胎嚢、胎児頭殿長、児頭大横径、胞状奇胎、胎盤附着部位、多胎妊娠、胎児発育、胎児形態異常の診断、子宮頸管長、Biophysical Profile Score (BPS)、Amniotic Fluid Index (AFI)、血流ドップラー法 11)出生前診断・・・胎児 well-being 診断、胎児形態異常診断 12)分娩監視法・・・陣痛計測、胎児心拍数計測、血液ガス分析
経験できる手術	<p>婦人科:腹式単純子宮全摘出術、腔式単純子宮全摘出術、開腹子宮筋腫核出術、子宮腔部円錐切除術、頸管ポリープ切除術、子宮脱手術、付属器摘出術、開腹・腹腔鏡下卵巣腫瘍核出術(切除術)、異所性妊娠手術、開腹・腹腔鏡下卵管避妊手術、Bartholin 腺手術、陈旧性会陰裂傷形成術、腹腔鏡下腹腔内観察、胸水腹水穿刺術</p> <p>産科:流産手術、吸引分娩術、帝王切開術、外陰・腔血腫除去術、頸管裂傷縫合術、腔会陰裂傷縫合術</p>
学会認定施設	<p>日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設</p> <p>日本がん治療認定医機構認定研修施設</p> <p>日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設</p> <p>日本臨床細胞学会認定施設</p> <p>日本輸血細胞治療学会認定医制度指定施設</p>

